



# 消費税10%への増税、**日本共産党** ストップさせましょう！

## 市民の暮らしと営業、市財政にも大きな負担かける悪税にノー！

### 消費税に頼らない 「別の道」を提案します

アベノミクスで大儲けした大企業や富裕層に、  
応分の負担をもとめれば10%増税などしなく  
ても社会保障の財源はつくれます。

大企業が  
中小企業なみの  
法人税負担 **4兆円**  
国の税収増

富裕層の  
株取引に  
欧米なみ課税 **1.2兆円**  
国の税収増



### ウソ、偽装、ごうまん、強権… 安倍政治に**サヨナラ**を

家計も賃金もマイナス、「生活が苦しい」という国民の現実…、  
どこからどうみても消費税10%は無理。  
日本共産党を伸ばし、増税中止においこみましょう。

**ストップ！**  
暮らしと経済こわす消費税10%  
戦争への道 = 憲法9条改悪

また、増税対策としての「プレミアム商品券」予算(非課税世帯と2才までの子育て世帯に1人5千円)も出されましたが、今年一引きりではナシ、何の景気対策にもならず、しかも商品券総額1

億7千万円を発行する費用に6千万円もかかります。

共産党市議団は、これは「世紀の愚策」、増税しないのがいちばんの景気対策だと批判しました。

景気対策にもならない  
「世紀の愚策」プレミアム商品券  
1枚(5千円)の発行費用が  
1765円！



値上げ」だと批判、値上げの必要  
共産党市議団は、これは「便乗

などないと反対しました。  
一方で、増税による市財政への影響は、半年分の概算で1.4億円。それだけ必要な事業の予算が吸い上げられます。市民にも市にも、良いことは何もありません。  
この使用料値上げ議案に反対したのは、日本共産党市議団だけです。

市施設使用料の値上げは  
消費税「便乗値上げ」だ！



# 市民の暮らしまでもって頑張ってます

## 日本共産党鈴鹿市議団

### 3議席の力で、しっかり 市政をチェックします

- ◎ 安心して暮らせる  
街づくりおすすめ
- ◎ 県下一高い国民健康保険料を引き下げ  
子どもにもかける保険料「均等割」なくします
- ◎ 子ども医療費を中学まで窓口無料に  
▼ 学校給食費も無料化をすすめます
- ◎ 地域巡回コンビニバス・生活交通走らせ  
▼ お出かけ・買い物・通院が便利な街にします
- ◎ 学校・保育所の古い校舎・施設  
▼ 建て替え・改修を急いおすすめ



県下一高い国保料、  
子ども「均等割」なくし  
引き下げを

2016年、鈴鹿市は国民健康保険料を17%も引き上げ、その後3年間、県下14市中で一番高い保険料になっています。共産党市議団は値上げに反対し、一般会計から3億円を繰り入れて値上げを抑えることを要求。また値上げ後に11億円(19年3月現在)も貯めた支払基金を活用すれば、子どもにもかかる「均等割」保険料(年額1人4万円)をなくせる、と提案しています。

上水道・下水道とも、  
値上げ幅は半分でやれ  
ると提案

2018年、鈴鹿市は上水道料金12.5%、下水道料金20%を値上げしました。共産党市議団は、上水道の今後10年の赤字予想から、値上げは6%ほどで済む。下水道はあと数年の事業ピークを過ぎれば、一般会計からの持ち出しと借金が減る見通しを示し、いま大幅な値上げは不要、半分で良いと対案を出し、反対しました(共産党以外の議員は賛成)。

Cバス運賃値上げで、  
利用者激減したまま。  
高齢者・学生に割引を

Cバスの運賃も2016年、100〜300円から、200〜400円に値上げされました。共産党市議団は、もともと高齢者や高校生など交通弱者のために走っているバスに、あとから「収支率」を持ち出して値上げの理由にするのは間違いだと反対しました。この値上げで利用者が15%も減り、もろんだ収入増は1千万円も下がったままです。市議団は、利用者を増やすために、高齢者や高校生への割引運賃を提案しています。

「何でも賛成」の議員では、  
市民の利益まもれません。  
「良いこと」には賛成、悪い  
ことには反対」とハッキリ  
もの言う議員が必要です。